

知恵の樹

No. 165 2012. 2. 22

町田の図書館活動を
すすめる会

事務局：町田市森野 3-1-12 増山方
〒194-0022 FAX 042-722-1243

請願採択、そしてこれから

伴 紀子（町田の学校図書館を考える会）

昨年12月の市議会で、私たち町田の学校図書館を考える会が提出した「すべての町田市立小中学校図書館に『専任・専門の学校司書』を公募で配置することを求める請願」が無事採択されたことは、読者の皆さまは既にご存知のことと思います。

さて、では「採択されたからこれで安心」かということ、そう簡単ではありません。重要なのはこれからの活動と私たちは考えています。「採択＝実現」ではないのです。

まずは、これからも市議の方々への働きかけを続けること。わかっているつもりではいましたが、請願を行ったことで学校司書の役割がほとんど理解されていないことがより鮮明となりました。更に、地方交付税措置でハッキリと「学校図書館担当職員（学校司書）の配置」のための予算が閣議決定されたことを受け、その予算が目的通りに使われることを求めて運動を続け、注意深く見守る必要があります。長く続けてきた学校図書館を充実させるための活動に少し光がさしてきた気がします。

しかし、過去 10 数年図書整備費として予算措置された地方交付税が、SLA の全国調査によってもその 3 割程度しか使われていない悔しい事実が判明しています。地方交付税は一括交付金として自治体に降りてきますので、地方自治の観点からすれば自治体の裁量に任せられるのは当然とは

言え、今までまったく顧みられなかった「学校司書」の重要性を国が認め、そのための苦肉の策として地財措置をしたことは画期的なことです。今こそ自治体の力量と見識が問われているとも言えます。

そして、もうひとつ最も骨の折れる活動として、旧・現指導員の方々に請願の主旨をいかに理解してもらおうかということです。採択後、「今の指導員をやめさせようとしている」というような私たちの会への誤解からくる批判が耳に入ってきています。そのような誤解を広めず払しょくするために、交流会などを行い、根気よく説明をしていく必要があります。

少しの光はさしたものの、まだまだゴールは見えてきません。実現まで時間がかかることを考えますと、新たなメンバーを入れ少しずつ活動を引き継ぐ準備することも重要です。

私たちも請願しっぱなしではなく、議会も行政も採択しっぱなしではなく、お互いの考えを共有しあい、ともにスクラムを組んでの共同作業を始めなければと思うのです。これからもどうぞ、学校図書館へのご理解とご協力をお願いいたします。

第14期図書館協議会第4回定例会報告

2012年1月17日(火曜日)9時30分より中央図書館6F ホールにて図書館協議会定例会が開催されました。

館長報告事項

1:2011年第4回町田市市議会定例会

(一般質問:図書館関係。2名3件)

*おく栄一議員:鶴川緑の交流館に開館する鶴川駅前図書館の休館日・開館時間に関する質問。図書館側答弁:図書館の人員の関係上、現在の中央館と同じにする予定。

*三遊亭らん丈議員:①図書館資料返却を図書館以外でも返却できるようにしてはとの質問。図書館側答弁:南町田駅前連絡所、小山市民センター、忠生市民センターでの対応などを説明。

②CD,DVD等の中央館のみの貸出現状について利便性向上を望む(地域館等の貸出を希望)。図書館側答弁:貸出には一定量の資料を所有しなければならず、現状の資料費では地域館での貸出対応は無理。

2:鶴川駅前公共施設の竣工時期の変更

市議会議案(97号、98号、99号)により工期を2012年8月31日に変更(当初は5月末の予定)。理由は、建築現場に古井戸が二本見つかりその対応工事に時間がかかることと、震災の関係で建設物資の調達に遅延が発生しているため。この結果、図書館開館予定日は10月16日に変更。

3:『町田の図書館』2010年度版が発行

2011年11月発行、64p

4:市議会議員向けレファレンスサービスの実施(1月24日より開始)

市議会議員の議会活動に伴う調査について、従来の庁内レファレンスに準じた形態で調査、資料、情報の提供を行う。レファレンスは中央館が担当。また庁内レファレンスとして議会事務局を通じたレファレンスサービスも行う。(貸出冊数50冊、1ヶ月間。但し、館内閲覧用資料、視聴覚資料、新刊雑誌、は貸出不可。貸出用レファレンス資料は1週

間。他図書館からの協力貸出は2週間。)

5:平成23年度東京都多摩地域公立図書館大会の案内

(省略)

6:嘱託職員採用

①11月1日付け 1名

②24年度に向けての採用(既に応募終了)

4月採用 2名(欠員補充)

6月採用 14~15名(鶴川駅前図書館)

1月30日集合試験(一次試験)、2月8日二次試験

* * 協議事項(図書館評価)については次回へ次回、図書館協議会定例会は2月21日15時~中央図書館6Fホールにて開催します。傍聴自由です。ご希望の方は、会場へ直接お越しください。

(文責:山口洋:会員、図書館協議会委員)

原稿募集!

特集 故 松野幸雄さんを偲んで

松野さんは、本会前身の「市立図書館をよりよくする会」の発足時から、組合の一員としてこの会に関わり、図書館見学の際にはご自慢の車に乗せてくださいました。定年後は個人会員として加わり、たびたび会報に原稿をお寄せくださり、大変お世話になりました。

個人的に親しかった方、一緒にお仕事をされてこられた方、ぜひみなさんの一筆を集めて3月号の特集としたいと思います。

原稿はメールもしくはFaxにて増山までお送りください。字数は問いません。締切は3月15日です。よろしくお願ひします。

かえで文庫の行く先は？ その後の報告

成瀬センターは、2013 年の秋から旧校舎棟の建替え工事が始まる予定で、その中で 32 年間活動を続けて来たかえで文庫もどこかへ移設をしなければならなくなりました。

一方、昨年(2011年)の4月から、同じ敷地内にあった学童保育が学校内に移動しその建物が空いているので、そこへ文庫が移設出来れば利用者の子も達の為にも一番良いと考え6月頃からお願いをしておりました。ところが、返事をいただけないまま半年余り過ぎてしまい、その上、耐震検査の結果2012年の2月からもう建物は使用不可とのこと、急遽この1月で文庫は閉室となりました。1月11日(水)のかるた会を最後に子ども達への対応は終わりにして、移動の準備を始めました。教室の3方の壁を埋める書架7つ、間にある低い両面書架3つ、蔵書5000冊ほど、その他諸々の資料を行き先の決まらぬまま、移動出来るように整理しました。しかし、学童クラブの建

物には諸事情で移設は出来ないとのこと。

それでも子ども達はいつものようにやって来て、作業中の私たちを見つくと、「あ！いたいたあ〜」と喜んで入って来て、本を開いたり紙芝居を読み合ったりして楽しみ「どこに移るの？決まったら早く教えて〜」と催促していました。

市の協働課では、いろいろ検討して下さいって2月9日やっと電話がありました。学童の建物の小さな部屋(先生方の事務室だった)を4月から活動場所にして下さいとのこと。広いフロアは仕切りをして、会議室も作るので文庫の部屋は小さく、本も僅かしか置けないスペースですが、ひとまず活動拠点を持つことに感謝です。4月から、また子ども達の笑顔が見られるよう3ヶ月近い休眠期間を大切にして、更に2015年完成予定の新しいセンターの中でのかえで文庫の充実を夢見ている所です。

3 p 下段・・・2011年度 第2回2月14日
「町田市子ども子ども読書活動推進会議」 報告記事

この号、水越さん編集。データ無し。

5p 「第1回まちだとしょかん子どもまつり」
のスケジュールを貼り付け

ひろば



例会報告 1/18(水) 18:00-20:15
16:30~

会報印刷 (伊藤・丸岡・桃沢)
編集会議 (玉目、水越、増山)

出席者：石井、伊藤、久保、玉目、手嶋、
増山、丸岡、水越、桃沢、山口、山本

【図書館協議会報告】

12月議会的一般質問

いずれも市民の利便性についての質問だが、議員は市民の代表であり、図書館側も館内で真剣に検討しないと、サービスの発展性がないのでは。

【図書館評価について】

2月の図書館協議会で正式な評価項目が出る予定。12年度図書館評価の素案を1月頃に出すということだったのに出なかった。議事録をきちんと出さないと、発言について確認ができず、うやむやになっていく(会議後は今後要録というかたちで出すことになった)。

前年度の評価を今やっているが、すぐフィールドバックできないのか。評価がサービス向上にうまく直結しているかという疑問。結果が出たものに対して、評価しただけで終わるのではなく、目標に近づいた

講演会 2011年度児童書新刊本から

どの本読もうかな?!

講師：広瀬恒子さん

(親子読書地域文庫全国連絡会代表)

年間3,000タイトルもの子どもの本の出版状況、
子どもたちに手渡したい旬の本、
読んでみたい本が見つかります

日時：3月1日(木) 10:30~12:30

場所：町田市立中央図書館 6Fホール

直接会場へどうぞ! (資料費 500円)

主催：町田の図書館活動をすすめる会

問合せ：増山 ☎042-722-1243

2011年度 第12回 文学館(主催)で楽しむ

おとなのためのおはなし会

3月15日(木) 10:30~11:30

町田市民文学館 2F大会議室

プログラム (通算58回)

- * 町田ゆかりの作家「沢野ひとし」 菊池とも子
 - * 「世界の果ての井戸」(イギリスの昔話) 砂川とき江
 - * 「おばすて山」(日本の昔話) 杉野みな子
 - * 「マンドレークの声」(杉みき子作) 税所紀子
- 無料 直接会場へどうぞ! 保育有
(町田市民文学館 ☎042-739-3420)

めの分析など、今後どうしていくかが検討されないと意味がない。

【報告事項】

- ・松野幸雄さんの告別式 すずめる会からは伊藤、増山、丸岡、桃沢が参列。
- ・「知恵の樹」編集会議を行った。3月号は松野さんの追悼号にする予定。原稿募集中。
- ・子どもまつり実行委員会(委員長：丸岡) 3月29日~4月1日開催予定。親子でどうぞ。
- ・学校図書館司書のための知財措置

現在の指導員さんをどうするのか...公募となることによって、もう一度応募しなおさなければならないことを懸念する声も聞かれる。

学校司書と司書教諭が同じものだと思われている。学校図書館は司書教諭がやるものだという認識を変えなければいけない。司書教諭は基本的にクラス担任をもちながらの兼任なので、やるのであれば学校図書館専任であるべき。週5日、時給1000円(6時間)という算定基準か? 結果が出れば継続される見込みも(単年度予算)

- ・かえで文庫...当初2013年~工事、2015年センター完成予定のはずが、耐震診断を行うため、2月からセンターが使えなくなることに。新たな場所を市が昨年暮れまでにとあたっていたが、現時点でまだ決まらず。1月中に出て行かなくてはならないのに、不安定この場所では終わり、ということ子どもたちに伝えており、少しずつ片付けている状況。(この後の状況についてはp3をお読みください)

毎年春の恒例、広瀬さんによる新刊紹介が近づきました。ぜひお誘い合わせの上、お越しください。